



第 166 回 多可町定例記者会見

令和 6 年 1 月 24 日 (水) 午後 1 時 30 分～
多可町役場本庁舎 2 階 大会議室

1. 町長あいさつ

2. 案 件

◆記者発表事項

- (1) 生活安全課 …… P.1
令和 5 年度女性防災講座 ～自分や身近な人を守る～ 女性だって! 防災!
- (2) 産業振興課 …… P.2
多可町水田営農継続支援金
- (3) ベルディーホール …… P.3
TAKA Fes YOUNG ROCK 2024
『堀内まさみトークショー』『チャリティーマルシェ』
- (4) 那珂ふれあい館 …… P.5
『線路の記憶 ～大正から昭和を走り抜けた鍛冶屋線から』開催
- (5) 学校教育課 …… P.7
多可町ふるさとキャリア教育
- (6) こども未来課 …… P.8
第 28 回おもしろ算数・数学講座

◆その他の機関

- (7) 多可町商工会より …… P.9
多可町商工会青年部創立 15 周年記念講演
商品・サービス合同記者発表会
播州織オンライン展示会「リアル播州織 EXPO2023」
- (8) 北はりま特別支援学校より …… P.17
令和 5 年度 2 月授業参観

3. 質 疑

4. 次回のお知らせ

◆第 167 回多可町定例記者会見

と き 令和 6 年 2 月 28 日 (水) 午後 1 時 30 分～
ところ 多可町役場 2 階 大会議室
問合せ先 企画秘書課 TEL 32-2381

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	生活安全課	内藤 実紀	0795-32-4777

事業(行事)名

令和5年度女性防災講座 ～自分や身近な人を守る～ 女性だって！防災！

日時(開催期間)

2月24日(土) 午前10時～

場所

ベルディーホール 会議室

趣旨または目的

近年、激甚化、頻発化している災害。2024年元旦、能登地方で大きな地震災害が発生、多くの被害が出ており、現在も人命救助、復旧、復興にむけて懸命な活動が続いている。

阪神淡路大震災における兵庫県での死者数は、女性は男性に比べ1000人多く、約1.4倍だった。女性自身が防災に関わる機会を増やし、自分や身近な人の命を守ることがとても大切である。

災害は必ず来るもの、その時どのように身を守り、生活を立て直していくのか。大阪北部地震や平成30年台風21号を経験された、講師の辻由起子さんから、そのヒントを学ぶ。

女性が防災に関わる機会は日頃から多くはない。少しでも多くの女性に参加いただき、自身の防災力を高めていただきたい。

内容

いつ、どこで起こるか分からない自然災害。女性自身が自分や身近な人の命を守るためにできることは何かを考える女性防災講座を開催。

参考資料など

別紙ちらし「～自分や身近な人を守る～ 女性だって！防災！」

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	産業振興課	岸本 裕介	0795-32-2388

事業(行事)名

多可町水田営農継続支援金

日時(開催期間)

場所

趣旨または目的

依然として肥料、燃油等の価格高騰が続き農業経営が危惧される中、次年産に向けて意欲的に農業を継続していただくため、農家の皆さんに支援金を交付する。

内容

■対象者

耕作農地が記載された令和5年度営農計画書を提出している農家で、水稻(加工用米、新規需要米、WCSを含む)を耕作している農家。

■交付額

耕作面積合計から自家消費相当10aを控除した面積に対し、10aあたり1,500円を交付

■交付時期

支払いの準備、および出荷の確認ができ次第、令和6年1月以降振り込み。

参考資料など

令和5年度営農計画書提出農家戸数 2,232件

うち対象農家 960件

予算額 12,000,000円

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	生涯学習課 文化会館	赤松 康正	0795-32-1300

事業(行事)名

TAKA Fes YOUNG ROCK 2024

日時(開催期間)

3月24日(日) 午後1時～

場所

ベルディーホール

趣旨または目的

昨年8月18日に行われた多可高校生による第8回多可町高校生議会において、音楽で地域と高校生が深くつながり、多可町と高校のPRもかねることで人口増加へのきっかけとなるとの意見から、『多可フェスを開催せよ』が提案された。

地域の未来を担う高校生たちの熱い想いを受け、新たな交流の場の創出を応援すべく、多可町のバックアップの下、高校生がゼロから作りあげるロックフェスが実現する運びとなった。

内容

北播磨区域の高校生バンドによるロックフェス。

ラジオ関西のパーソナリティによる司会進行や、女優としても活躍されているシンガーソングライターの井上苑子さんをスペシャルゲストに招き、TAKA Fes YOUNG ROCK 2024を盛り上げる。

チケット発売日 2月10日(土)

料金 一般1,700円 高校生以下1,200円 (全席自由)

出演 高校生バンド(多可高校、西脇高校、西脇工業高校、社高校、小野高校)

問合先 ベルディーホール TEL:0795-32-1300

参考資料など

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	生涯学習課 文化会館	安平 智香子	0795-32-1300

事業(行事)名

‘23 ベルディーホール住民企画自主公演事業
世界対がんデー・国際小児がんデー啓発企画
『堀内まさみトークショー』『チャリティーマルシェ』

日時(開催期間)

2月4日(日) 午前11時～正午(講演会)
正午～午後3時(チャリティーマルシェ)

場所

多可町文化会館ベルディーホール 会議室・ロビー

趣旨または目的

幅広い世代の方々に、小児がん患者の現状や支援活動について周知を図るとともに、支援を求めることを目的とし地域住民が「小児がん支援活動啓発実行委員会」を立ち上げ、これまでに町内イベント時にチャリティーマルシェ等を行ってきた。

今回、俳優であり、小児がんや難病の治療に訪れたお子さんとご家族のための滞在施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の代表理事でもある堀内正美さんの講演会とチャリティーマルシェを開催する。

内容

- ・堀内まさみトークショー
「俳優業とは、社会貢献とは」
—もっと気軽に気楽に！自分にできること—
- ・チャリティーマルシェ
趣旨に賛同いただける方々に出店いただき、売上の一部を「チャイルド・ケモ・ハウス」に寄付する。
レモネードスタンド
ワークショップ(ヒノキのアクセサリ作り)
販売(スコーン、パン、焼き菓子、小物など)
キッズコーナー(お菓子作り、的当て、木のおもちゃなど)

参考資料など

チラシ

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	教育総務課 那珂ふれあい館	安平 勝利	0795-32-0685

事業(行事)名

北はりま定住自立圏連携事業 特別巡回企画展

『線路の記憶 ～大正から昭和を走り抜けた鍛冶屋線から』開催

日時・場所(開催期間)

① 1月27日(土)～2月25日(日) 多可町会場：那珂ふれあい館

【特別講演会】 2月18日(日) 午後1時半～

『廃線から34年 ～鍛冶屋線の言伝え～』

元カナツ・ハイニノ国内閣官房長官 小嶋 明 氏

場所：那珂ふれあい館 研修室 参加費：100円(資料代)

要予約 (定員：50名)

〈申込・問合せ先〉 那珂ふれあい館 TEL：0795-32-0685 Fax：0795-30-2730

mail：fureaikan@town.taka.lg.jp

*休館日：毎週月・火(但し、月・火が祝休日の場合は翌水曜日が休館)

② 3月2日(土)～4月7日(日) 西脇会場：西脇市郷土資料館

【特別講演会】 3月17日(日) 午後1時半～

『鉄道構造物からみた播州鉄道と鍛冶屋線』

兵庫県立歴史博物館 鈴木 敬二 氏

場所：生活文化総合センター 1F ミーティングルーム

参加費：100円(資料代) 要予約(定員：50名)

〈申込・問合せ先〉 西脇市郷土資料館 TEL：0795-23-5992 Fax：0795-22-5580

mail：shiryoukan@city.nishiwaki.lg.jp

*休館日：毎週月曜(但し、月曜が祝休日の場合はよく平日が休館)

趣旨または目的

「北はりま定住自立圏の形成に関する協定書」に基づき、圏域の文化財及び歴史資料の有効活用を図るため、主題の共同企画展を移動開催し、圏域の一体感を醸成するとともに郷土に誇りと愛着をもつ機会とする。

内 容

西脇・多可地域の鉄道敷設は、地域発展のための悲願として、先人たちの多大な努力によって、大正2年8月10日に国包駅～西脇駅間、大正10年5月9日には西脇駅～市原駅間が開設され、大正12年5月6日に鍛冶屋駅まで延伸されて全線開通に至った。鍛冶屋線の存在は、交通の大動脈としての役割のみでなく、当地域の産業・社会・文化に飛躍的な発展をもたらせ、地域活性化にとって大きな役割を担ってきたといえる。しかしながら、高度経済成長による急激な社会変化や、昭和40年代からはじまるモータリゼーションの影響を受け、昭和61年に特定地方交通第三次廃止路線に決定、昭和63年に全線廃止とバス転換が決定され、平成2年3月31日、多くの人々に惜しまれながらその役割を終えた。その後、線路敷きは遊歩道や道路として整備され、現在も主要な交通路として活かされているほか、昭和後期から盛り上がりを見せた、全国でも類を見ない住民主体の鍛冶屋線存続運動は、その後新たなまちづくり運動につながり、現在の西脇市、多可町のまちづくりに活かされている。

鍛冶屋線全線開通から100年が過ぎた今、大正・昭和を駆け抜けてきた鍛冶屋線の記憶をたどり、その時々の人々に思いを馳せるとともに、今後の当地域の地方交通の在り方を考える機会の創出と、西脇・多可地域の未来を考える一助になることを意図し、当企画展を開催する。

展示では、鍛冶屋線関係の資料や写真（約300点）を中心にした展示と、当時の記録映像の上映を行う。（企画展図録も作成中）

また、西脇北高等学校と連携し、展示準備や講演会でのボランティア部の生徒さんたちのご協力をいただくほか、現在加古川線のドキュメント作品を制作されている放送部の特別ブースの設置も予定をしている。

参考資料など

別紙チラシ

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	学校教育課	青木 ひなの	0795-32-2395

事業(行事)名

多可町ふるさとキャリア教育

日時(開催期間)・場所

① 中町中学校 (多可町中区奥中 588 番地・TEL0795-32-0009)

講師：多可町商工会青年部員 数名

日時：2月16日(金)

場所：中町中学校

② 加美中学校 (多可町加美区豊部 300 番地・TEL0795-35-0300)

講師：多可町商工会青年部員 数名

日時：1月26日(金) 午後1時30分～2時20分

場所：加美中学校

③ 八千代中学校 (多可町八千代区中野間 680 番地・TEL0795-37-0049)

講師：多可町商工会青年部員 数名

日時：1月26日(金) 午後2時30分～3時20分

場所：八千代中学校

(講師は1月中旬以降に決定予定)

趣旨または目的

ふるさと多可町を愛し、たくましく生きるこころ豊かな子どもの育成をめざして、中学1年生を対象に、地元で就業・起業し、活躍する郷土の先輩を講師として学校に招き、地域で夢を持って生きる先輩の姿に学ぶ学習会を開催する。

内容

トライやるウィーク(中学2年生)の事前学習の一環として位置付け、地元(特に多可町近隣)で就業・起業し活躍する先輩から、地域で夢を持って生きる先輩の姿を学び、将来の生き方や働き方、社会とのつながりや社会における自らの役割を考える機会とする。

参考資料など

なし

多可町政 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	こども未来課	杉原 光平	0795-32-2385

事業(行事)名

第28回おもしろ算数・数学講座

日時(開催期間)

2月3日(土) 午後7時～

場所

八千代コミュニティプラザ 2階大ホール(多可町八千代区中野間 650 番地 1)

趣旨または目的

多可町在住の門脇紀博^{かどわきとしひろ}氏が大阪大学名誉教授、故臼井三平^{うすいさんぺい}先生との西脇高校時代の同窓会の折に、大学体験を子どもたちを含む地元地域の人たちにしてほしいという話題となり、それが実現し始まった取り組み。その後、故臼井氏の恩師である京都大学名誉教授 故永田雅宜^{ながたまきよし}先生も加わり毎年恒例の講座となり、旧八千代町時代から行われ、今回で28回を数える。頭の体操や数学的思考を学ぶための楽しい問題や謎解きの問題で、小学校4年生から解くことができる。

現在は、足利先生ら4名の数学研究者の善意のご協力を得ながら「子ども達に算数・数学へ興味を持ってもらいたい」との趣旨のもとで開催している。他市町からも参加いただいている。

内容

各教授らによる問題・解説

- ・ 足利^{あしかが} 正^{ただし} 氏(東北学院大学名誉教授)
- ・ 大淵^{おおぶち} 朗^{あきら} 氏(徳島大学名誉教授)
- ・ 遊佐^{うさ} 毅^{たけし} 氏(兵庫県立大学客員研究員)
- ・ 朝倉^{あさくら} 政典^{まさのり} 氏(北海道大学教授)

今年度は、参加定員を50名とし会場開催と会場に来れない方用にライブ配信も検討している。詳しくは多可町ホームページに掲載。

(電話での問い合わせ可。申込時に「会場参加」か「ライブ配信聴講」かを選択して申し込み。)

参考資料など

第28回参加募集チラシ

多可町商工会 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	多可町商工会 業務推進課 青年部担当	大椿 響	0795-32-2161

事業(行事)名

多可町商工会青年部創立15周年記念講演

日時(開催期間)

2月25日(日) 午後3時30分～5時

場所

多可町文化会館 ベルディーホール

趣旨または目的

多可町商工会青年部は多可町内に事業所を置く45歳以下の若手経営者、後継者からなり、84名の部員がいる多可町商工会の内部組織である。青年部では経営資質向上や地域振興等を目的に事業を行っている。

当青年部は地域の皆様に支えていただきながら、今年度で創立15周年を迎える。

そこで感謝の思いを込めて、時代を担う子供たちやその保護者の皆さん、また、商工業者の皆様にもご参加いただける、講演会を開催する。講師はお笑い芸人でありながら、全国各地で「命」「言葉」「人生」「日本人」をテーマに魂のこもった熱い授業を展開しているゴルゴ松本氏を迎えて行う。

内容

- ・多可町商工会青年部創立15周年記念講演「出張! ゴルゴ塾 命の授業」
- ・受付開始 午後2時30分
- ・講演 午後3時30分～5時
- ・講師はお笑い芸人「TIMのゴルゴ松本氏」
- ・約1時間30分の講演会
- ・対象は町内の小学生・中学生・高校生及びその保護者、町内在住の方
- ・参加費は無料
- ・定員は550名(先着順・定員となり次第締め切り)
- ・申込方法はチラシ掲載のQRコードより可能

参考資料など

チラシ

多可町商工会 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	多可町商工会	本庄 尚哉	0795-32-2161

事業(行事)名

多可町商工会「商品・サービス合同記者発表会」

日時(開催期間)

令和6年2月5日(月) 14:00～16:20

場所

多可町商工会館2階 大・中会議室

趣旨または目的

当会では、国の施策である「経営発達支援計画」の一環で「本気で経営力強化に取り組む小規模事業者30者(以下「本気事業者」)」を毎年募集(今年度は34者が応募)しており、この事業は本気事業者の販路拡大と新規顧客獲得を目的としています。

初めて開催した昨年度に続いて2回目の開催となり、今回は34者のうちの7者がエントリーし、広報の知識を専門家から学び、自社の商品・サービス等について「ターゲット」や「コンセプト」の見直しを図って、当日に臨みます。

この取り組みによって各事業者のPR力やプレゼン力向上を図るとともに、魅力ある元気な事業者が多く存在する町「多可町」もPRし、地域活性化も目指していきます。

内容

<参加事業者> 7者

- ①山奥の菓子工房 ナチュラル (洋菓子製造販売)
- ②ランドグラフィックス (デザイン・雑貨販売)
- ③橋本裕司織布 (織布)
- ④縁側ゲームショップ あまんじゃこ (ゲームソフト販売)
- ⑤布工房 風花～kazahana～ (生地卸・販売)
- ⑥道楽本舗 (演奏家・民泊)
- ⑦農園若づる (農業・穀物類販売)

<スケジュール>

- 13:30 受付
- 14:00 開会、プレゼンテーション
- 15:00 各事業者への取材・インタビュー

参考資料など

プレスリリース文書

令和5年度「本気の事業者」販路開拓支援プログラム

「商品・サービス合同記者発表会」2月5日(月)開催

多可町商工会館にて14:00より開催！第1部/記者発表・第2部/展示会(取材)

多可町商工会(会長:清水 賢彦 しみず かつひこ)では、日々、小規模事業者の事業支援を行っておりますが、この度、「本気の事業者」の販路拡大と新規顧客獲得を目的とした「商品・サービス合同記者発表会」を開催します。

このプログラムは、国の施策であり当会が策定した「経営発達支援計画」の一環であり、毎年募集している「本気で経営力強化に取り組む小規模事業者 30 者」に対する支援策です。この 30 者のうちの 7 者が、広報の知識を専門家から学び、自社の商品・サービス等について「ターゲット」や「コンセプト」を見直し、また必要に応じてSDGsの観点も取り入れて事業を整理しました。

そしてこのたび、マスコミ関係者の方々に向けた合同記者発表会を、令和6年2月5日(月)14時から当会館にて開催することになりました。昨年度に初めて開催して今年度で2回目となりますが、精度を高めてバージョンアップした形式で取り組みます。



■参加者の集合写真(昨年度の様子)



■第1部/発表会の様子(昨年度の様子)

この事業を通じて、当該事業者の経営資源を広めるチャンスを提供し、新たな販路と取引先の拡大等を可能とする“きっかけ”作りとしたいと考えています。そして、商工会が地域一体となった広報活動・販路開拓の支援を行うことで、地域の活性化に繋がっていきたいと考えます。

つきましては、ぜひとも貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

■開催日時:2024年2月5日(月)14:00~16:00(受付 13:30)

第1部《プレゼンテーション》14:00~15:10 (1事業者約6分)

事業者からの新商品・新サービスのプレゼンテーション(7事業者)

第2部《各事業者への取材・インタビュー》15:10~16:00

■開催場所:多可町商工会館(住所:兵庫県多可郡多可町中区茂利 20)

<令和5年度 商品・サービス合同記者発表会 参加事業者一覧>

- 米粉を使ったグルテンフリーの新商品で小麦アレルギーの方へ
「こめたま」(昨年11月から新発売)
米(こめ=多可町産山田錦米粉)×卵(たま=播磨産地鶏)を使用
- SDGs5番推進宣言! ~雑談から未来の女性起業家を~
起業したい人への応援サービス「お茶しよか」2月6日スタート
デザイナーが雑貨店で雑談(お茶)をしながらプチ起業相談する新サービス
- SDGs9番推進宣言! ~播州織から誕生した新技術を世界へ~
流風織ジャケパン「KURUMU」2月海外へ展開
アメリカの大手クラウドファンディング「Kickstarter」へ出品
- SDGs推進宣言~ゲームの力で住み続けられるまちづくりを~
「あまんじゃこ SDGsプロジェクト」2月10日(土)スタート
①販売(出張買取)、②福祉(認知予防)③リノベーション(地方施設の再生)
- 播州織「丸底きんちゃく」がペット用としてリバーサル(改良・改善)
ペット用播州織巾着「いろおりポシェ」2月6日新発売
①小型ペット用、②中型ペット用の2種類、肩掛け用の紐が装着可能
- 町育ちのフルーツ弾きが 日本一の長寿の里山で作った楽曲
頑張る自分へのご褒美曲「ETERN エルノ」 8/28 発売予定
スペイン語で永遠、自然と文化の美しさの永遠を願う作品
- SDGs3番推進宣言! 赤ちゃんにおいしさを家族にゆとりを!
離乳食「すぐ、おかいさん」3月1日(金)新発売
無農薬のお米(α化米粉)でお食い初めを! 時短でおいしい離乳食

※発表とは異なる場合があります。

(※)今回の広報(プレスリリース)の指導を行った専門家
中小企業庁よろず支援全国本部サポーター(広報担当)
株式会社マジックマイスター・コーポレーション代表取締役 大谷 芳弘 氏

<お問合せ先>

多可町商工会 担当:本庄 尚哉(ほんじょう なおや)

TEL 0795-32-2161

メールアドレス n-honjo@taka-cho.jp URL <https://taka-cho.jp/>

〒679-1134 兵庫県多可郡多可町中区茂利 20

多可町商工会 記者発表資料

提出日	担当課・係	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	多可町商工会	本庄 尚哉	0795-32-2161

事業(行事)名

播州織オンライン展示会「リアル播州織 EXP02023」
(主催：西脇・多可「播州織」連携会議)

日時(開催期間)

令和6年1月26日(金)・27日(土)

場所

オンライン(リアル播州織WEBサイト) <https://banshuori.net/>

趣旨または目的

コロナ禍の2020年から毎年開催しているこの展示会は、インスタライブやYoutubeによる事業所紹介の動画配信、Zoomを使ったオンライン商談など、コロナ禍でも実施可能な取り組みを行ってきました。

その中で、もっと消費者の皆さんにダイレクトに播州織の魅力を伝え、そして何よりカンタンに播州織の商品や生地を手にとってもらいたいと思い、この度ライブコマースアプリを使ったショッピングに挑戦することにしました。

この取り組みによって、地域のいいモノを全国発信して、地場産業の盛り上げに貢献していきたいと思っています。そして、新たな販売方法を産地に浸透させることで、今までの歴史と伝統を守りつつ、これからの時代に柔軟に対応できる産地となるようにサポートしていきたいと思っています。

内容

展示会参加事業者21者(西脇市…12者・多可町…9者)

うちライブコマース参加者5者(西脇市…1者・多可町…4者)

※ライブコマースとは、インターネット上でライブ配信をしながら視聴者と配信者がコミュニケーションをし、ショッピングを楽しめるもの。今回は日本最大級のライブコマースアプリ「Peace You Live」を活用する。

<実施内容>

①ライブコマース

…アプリを使った産地とのコミュニケーション)

②商談窓口

…メールで産地企業にアクセスできるように事業所ごとの窓口設置

③事業所動画紹介

…産地企業の動画紹介

その他にも各社の取扱商品・生地を画像で紹介

参考資料など プレスリリース文書

キャッチコピー 全国初！繊維産地からライブコマースで商品・生地販売

イベント：「リアル播州織 EXPO2023」1月26・27日開催

説明文 綿織物「播州織」のオンライン展示会にて商品・生地を販売



(オンライン展示会「リアル播州織 EXPO」のトップページ画像)

兵庫県多可町の経済団体「多可町商工会」（会長：清水賢彦（しみずかつひこ））です。当町は、隣接する西脇市などと共に、糸を先に染めてから織る先染綿織物「播州織（ばんしゅうおり）」の産地として有名な町です。

播州織は江戸時代から230年以上続く当町の地場産業であり、商工会では、西脇商工会議所等と連携して「西脇・多可『播州織』連携会議」を発足させて、播州織のさらなる発展のための取り組みを行なっています。

この度は「西脇・多可「播州織」連携会議」が、令和2年から行なっているオンライン展示会「リアル播州織 EXPO」において、初めてライブコマースに挑戦し、インターネットショッピングを行います。

展示会名：リアル播州織 EXPO2023

会 期：2024年1月26日（金）・27日（土）

1年に1回開催しているこの展示会は、今までもインスタライブやYoutubeによる事業所紹介の動画配信、Zoomを使ったオンライン商談など、コロナ禍でも実施可能な取り組みを行ってきました。

今までの取り組みを通じて、もっと消費者の皆さんにダイレクトに播州織の魅力を伝え、そして何よりカンタンに購入してもらえるように、ライブコマースアプリを使ったショッピングに挑戦することにしました。

この取り組みによって、地域のいいモノを全国発信して、地場産業の盛り上げ

に貢献していきたいと思っています。

そして、新たな販売方法を産地に浸透させることで、今までの歴史と伝統を守りつつ、これからの時代に柔軟に対応できる産地となるようにサポートしていきたいと思っています。

つきましては、ぜひ、貴番組・貴紙にて取材の程、宜しくお願いします。

1.【顧客ターゲット】 「30～40代の女性」

詳細⇒ ライブコマースアプリ「ピースユーライブ」の利用者

2.【コンセプト】 「新規性」×「サービス」

詳細⇒ 播州織の商品・生地を、産地初となるライブコマースで販売

3.【強み】「確かな技術で創られた色彩豊かな播州織の商品・生地」

詳細⇒ 糸を先に染めて織っている（先染め）ため、プリント（後染め）よりも色合いがはっきりしていて、鮮やかな商品・生地である。

4.【リリースのポイント3つ】

①産地・地域

…綿織物「播州織」の産地から発信すること

②最新・流行

…インターネット上でコミュニケーションを図るアプリを活用すること

③便利さ・利便性

…インターネット上でカンタンに商品・生地を購入できること

5.【この取り組みによる夢】

播州織は、以前からも世界のトップブランドに生地を提供し、日本国内においても国内産シャツ生地の70%のシェアを誇る、日本を代表する織物ですが、その名はなかなか表には出てこないものです。

そんな中で、生地だけでなくストールやハンカチといった商品を、播州織関連事業者それぞれがしのぎを削ってブランド展開し、魅力的なアイテムを次々と世に送り出しています。そんな商品や生地を事業者から直接に、そしてカンタンに消費者の皆様にご購入していただけるようにしていきたいと思っています。

そして「暮らしの中にいつも播州織」のある社会になったらうれしく思います。

<以下、参考資料>

■西脇・多可「播州織」連携会議（今回の展示会の主催組織）

（事務局：西脇商工会議所・多可町商工会）

構成団体：産元組合、染色組合、播州織工業組合、加工、北播磨地場産業開発機構、西脇市、多可町

- ・2017（平成29年）年11月 発足以降、年2～3回の会議を開催

【主な事業】

- ・2019年3月 ものづくりフォーラム開催
- ・2020年12月 オンライン展示会スタート（2022年まで毎年開催）

■展示会概要

展示会名	リアル播州織 EXPO2023
特徴	全国的の繊維産地の中でも珍しいオンライン100%（他産地はリアルの催しも同時開催している）の展示会。 今回はライブコマースアプリ「ピースユーライブ」を使ったインターネット販売を新たに行う。繊維産地が一体となってライブコマースに取り組むのは全国初といえる。 ライブコマースに参加する事業者は現時点で〇者
配信日	令和6年1月26日（金）・27日（土）
配信先 販売先	ライブコマースアプリ「ピースユーライブ」上 https://web-app.peaceyoulive.com/ ※アプリをダウンロードしたユーザーが購入可能 リアル播州織サイト上からもアクセス可能 https://banhsuori.net/

<資料に関してのお問合せ先>

多可町商工会 広報担当：本庄
電話：0795-32-2161 FAX：0795-32-1699
E-Mail：n-honjo@taka-cho.jp
HPアドレス（商工会）：<http://taka-cho.jp/>
HPアドレス（展示会）：<https://banhsuori.net/>
住所 〒679-1134 兵庫県多可郡多可町中区茂利20

REAL
BANSHUORI

北はりま特別支援学校 記者発表資料

提出日	担当課	担当者名	連絡先
令和6年1月24日	進路指導部・満村	教頭 谷水	0795-32-3672

事業(行事)名

兵庫県立北はりま特別支援学校 令和5年度 2月授業参観

日時(開催期間)

2月1日(木) 午後1時～1時35分(中学部)

2月2日(金) 午後1時～1時35分(高等部)

2月6日(火) 午後1時～1時35分(小学部)

場所

兵庫県立北はりま特別支援学校 校内

趣旨または目的

保護者の本校への教育活動に対する理解を一層深める。

内容

詳しくは、添付する別紙を参照。

参考資料など

別紙 令和5年度 2月授業参観実施要項

令和5年度 2月授業参観実施要項

- 1 日時 令和6年2月1日(木) 13:00~13:40 (中学部)
令和6年2月2日(金) 13:00~13:40 (高等部)
令和6年2月6日(火) 13:00~13:40 (小学部)

- 2 時程 12:45~13:00 保護者受付
13:00~13:35 授業参観
13:35~13:40 保護者集合場所へ移動開始、(集合場所は、また
連絡します)
13:40~14:30 引き渡し訓練の説明。訓練後、保護者と下校。
(保護者と下校できない生徒はバス下校等)

- 3 駐車場 農園前アスファルト駐車スペース、農園奥、茶畑